

令和8年度 安全と効率のための 目立て研修



日時 座学(0.5日)と実習(1.5日)の2日間

日程1:10月 20日(火)・21日(水)

日程2:10月 22日(木)・23日(金)

日程3:10月 26日(月)・27日(火)

日程4:10月 28日(水)・29日(木)

各日程 9:00-16:30

場所 京北合同庁舎 2階大会議室 及び 合併記念の森(右京区京北)

対象 京都市内で林業に従事されている方

定員 20名 ※各日程 5名

内容 裏面を参照

申込期間: 令和8年10月15日(木)17時 まで
※先着順にて受付いたします

主催・お申込み及びお問合せ先

京都市 産業観光局 農林振興室

TEL :075-222-3346 FAX :075-221-1253 (担当:中川、野口)

令和8年度 安全と効率のための目立て研修(裏面)

【講師】

Woodsman Workshop LLC. 代表 水野 雅夫 氏

伐倒練習機MTW-01を発売・開発し、全国各地で伐倒練習機を用いた技術指導を行うほか、目立てやかかり木処理などの基礎技術、コーチング（指導者の育成）研修にも力を入れています。林業に携わり30年、20数年間の現場業務を経て、現在は講師業に専念しています。



【開催趣旨】

「ソーチェーンの目立て」は、作業効率や安全性を左右する重要な日常メンテナンスです。

切れない刃での作業は、切削時間や燃料消費、機械への負荷を増大させ収益を損なうだけでなく、作業者の疲労も増大し、事故のリスクを高めます。本研修では、切削速度と振動を計測し、刃の状態と切削作業を数値で見える化します。目立てが良好なら、切削速度の向上と振動の軽減が期待できますが、振動の大小は目立ての良し悪しだけでは決まらないのです。自分の目立てはOKと以为ていても、もっと作業が楽になる改善点が見つかるかもしれません。目立てをおさらいして、今よりも小さな振動で、速く切ることができる「刃」と「切削」を追求してみませんか？

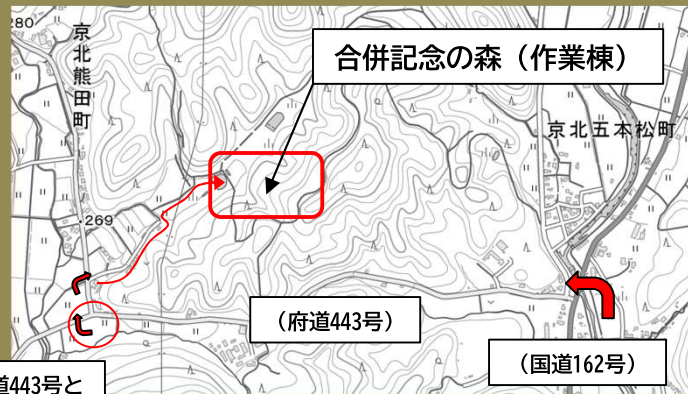


【研修内容・スケジュール】

※各日程、同じスケジュールです。

- 研修初日 集合場所：京北合同庁舎2階大会議室
- ・午前 座学 及び ソーチェーン・メンテナンス確認
 - ・午後 移動 及び 実習

- 〃2日目 集合場所：合併記念の森（作業棟）
- ・終日 実習_切削タイム・振動計測



【合併記念の森（作業棟）への行き方】

- ・国道162号線を府道443号線方面へ左折。
- ・府道443号線と府道365号線が合流する地点からすぐの曲がり角を右折

【持ち物】

筆記用具、メモ帳、
チェーンソー（トップハンドル型及び新品のソーチェーン不可）、
チェーンソー防護装備一式、歯ブラシ2本、予備のソーチェーン、
工具一式（丸やすり2本程度、丸やすりホルダー、平やすり、
アングルプレート、デプスゲージジョインター等）、
その他必要な補助具、昼食、飲み物

※現状チェックのため、必ず目立てをしてから持ち込んでください。

<補助金のお知らせ>

講習を受講される方で、要件を満たす方は、安全対策物品等の購入補助が受けられます。

- ・対象経費1/2以内(上限10万円まで)
- ・補助対象となる物品

チェーンソー防護ズボン、チェーンソー防護ブーツ、林業用ヘルメットなど

詳しくは

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000335429.html>

